

# 美術

## ■ 共通事項とは何か。

### 1 共通事項の意味

今回新たに加わった。

〔共通事項〕は、「A表現」及び「B鑑賞」の学習において、共通に必要な資質や能力である。

〔共通事項〕の共通とは、

- 「A表現」と「B鑑賞」の2領域及びその項目、事項のすべてに共通するという意味
- 造形への関心・意欲・態度、発想や構想、創造的な技能、鑑賞などの能力に共通して働くという意味

共通に働いている資質や能力とは、

- 形や色などの特徴をとらえる能力
- イメージをもつ能力

この能力は、表現及び鑑賞の活動の基になるとともに、対象からの情報を的確にとらえ、それを主体的に判断するコミュニケーション能力の基盤となるものである。

どの内容にも必ず必要なものであり、含まれているもの

### 2 〔共通事項〕の内容

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して次の事項を指導する。

- ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。  
イ 形や色彩の特徴を基に、対象のイメージをとらえること。

〔共通事項〕はそれのみを取り上げて題材にするものではなく、「A表現」及び「鑑賞」のそれぞれの学習を通して指導するものである。

アとイは相互に関連し合う関係にある。

色彩についての指導を例に挙げると、生徒に色彩に対して特に視点を示さずに対象を見せたときには、色の種類などをとらえる程度で終わってしまうことが少なくない。

それに対して、色合いや明るさなどの性質や、それらがもたらす感情などを意識させ、効果を理解させながら対象を見つめさせたときには、別の思いや考えが生まれてくることが多い。

〔共通事項〕の視点から発想や構想を促したり、生じたイメージを大切にして鑑賞したりすることにより、感性や美術の創造活動の基礎的な能力が一層豊かに育成されていくことになる。特に、一つの題材の中で同じ〔共通事項〕を基にして、形や色彩、材料などの性質や、それらがもたらす感情などに着目して鑑賞活動を行い、さらに、発想や構想をする表現活動を行うなど、〔共通事項〕を柱に表現と鑑賞の活動を関連させることにより、表現や鑑賞の能力は効果的に育成される。